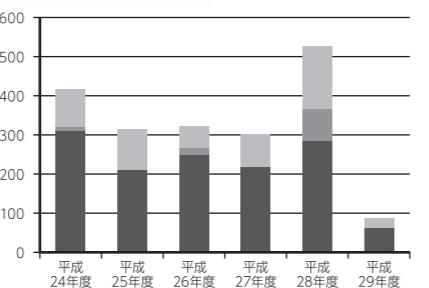


## 黄色いポスト回収状況

	書籍類	ビデオ等	DVD等	合計
平成24年度	314	10	93	417
// 25年度	212	0	110	322
// 26年度	251	18	62	331
// 27年度	220	0	82	302
// 28年度	287	82	157	526
// 29年度	65	0	24	89



松江市青少年育成連絡協議会(岡賀会長)は、青少年の非行防止のため有害環境浄化活動の一環として有害図書類回収用「黄色いポスト」を市内29カ所に設置し、有害図書類の回収を行っています。城西地区には須衛門久神社参道わきに「黄色いポスト」があります。

城西地区的今年度の回収状況は、12月現在で89冊(図書65冊、DVD24枚)、昨年に比べると激減しています。市全体では約5,600余数(12月現在)と前年とほぼ変わりませんが、城西地区をはじめ市内中心部での回収量は減少傾向にあります。その一因には人の流れや図書環境の変化(インターネットでの情報発信)が考えられます。なお、回収された有害図書類は松江市を介して廃棄処分されます。引き続き有害図書類の回収にご協力ください。

## 城西子ども会の活動に向けて

城西地区子ども会育成協議会 会長 曽田 徹

皆さんは、城西子ども会のことをご存知でしょうか。今回は、子ども会のことをより知つていただく為、活動の内容と合わせて主な行事の紹介をさせて頂きたいと思います。

本来城西子ども会とは、松江市子ども会などの関係団体と連携して、地区内子ども会の自主的な活動を促進し、青少年の健全育成を図ることを目的としています。例えば松江市子ども会が主催するグランドゴルフ・市民憲章かるた大会への参加する事での他地域の子ども達との交流、城西子ども会が企画する登山・キャンプにおいては日常では味わえない自然との触れ合いを体験して頂く場の提供をしています。

間近な行事として毎年6月に行なっている朝日山の親子登山などは、標高344mとそんなに高い山ではありませんが、一畠電車で長江まで行き登山口まで1時間半・頂上まで30分歩いて行きますので日頃の運動不足の解消にはもってこいではないでしょうか。

現在、ちょっと年齢の過ぎたスタッフと行事に参加されるお父さん・お母さんにご協力頂いて行事を行なっていますが、お手伝いして下さる方も募集していますので、興味のある方がいらっしゃいましたら公民館までご連絡ください。



## 広報

# ほほえみ

第31号

平成30年3月

発行

城西公民館子ども育成部



H29.7.29堀川カヌー体験～普段通学で通る「あいさつ橋」を見上げてカヌーを楽しみました～

## 学校給食で感じたこと

城西公民館子ども育成部 部長 三上 康則

過日、地区の民生児童委員、学校ボランティアの皆さんに混じって内中原小学校で学校給食を子どもたちと一緒に食する機会を得ました。

参加者は4班に分かれて1年生の各教室に向かいました。私たちが教室に入室すると、子どもたちは大歓声で迎えてくれました。

この日の献立はパン、ブロッコリーとキャベツの蒸した和え物、キノコのクリームスープ、ひき肉と豆の入ったカレー、そしてパック牛乳です。

着席すると早速、子どもたちは「大人のパンは白いシールが目印だよ、大きくていいな」、「カレーはこうしてパンにはさんで食べるとおいしいよ」と矢継ぎ早に教えてくれます。子どもたちは一所懸命に話しかけます。会話を楽しみながら食事も進むと、今度は「最後は、こうしてパンで皿をきれいにするんだよ」、「牛乳パックはよく見て、こうやって小さく畳むんだ」、子どもたちに従いながら食器の後片づけに移ります。次に、学校放送が入り、歯磨きタイムのお知らせになると、「食べたらハミガキだよ。持ってきた?」と聞かれ、真っ青!「後からします」と答えるを得ない自分が恥ずかしかった。食事をしたら歯を磨く、口をきれいにする、当然ですよね。

今般、子どもたちの孤食、欠食の話題を耳にします。「子どもの貧困」の現れの一つと言われていますが、その原因の多くは家庭の経済的貧困にあるとされます。貧困状態にある子どもは約7人に一人と言われ、30人教室でいえば4人は該当するという計算です。悲しい現実です。地域でもこうした子どもたちへの食の支援が試みられています。

三度の食事をきちんと取れること、どんなに大切なことか。欠食や偏食は心身の成長に影響があると言われます。今日の給食は、栄養バランスを考え、おいしさも加わり、子どもたちも嬉しそうに食べていました。学校同様、子どもたちの家庭でも楽しい食卓があり、家族の語らいの場があつてほしいものです。

## 放課後子どもキッチン

城西子ども広場コーディネーター 松本 朱美

最近「子ども食堂」というコトバをよく聞きますが、『城西プレーパーク』では月1回の土曜日、夏休み中の数日と毎日ではありませんが、10時～15時まで、遊びとあわせて子ども達と一緒に食事を作り、食べることを15年もやっています。何も特別なことではなく、誰でもこの居場所に来てそししています。

そして毎週月曜日『放課後子ども広場』も、同じように長年スタッフが代替わりしながら子ども達の放課後14時～17時を見守り続けています。この2つの広場がコラボして『放課後子どもキッチン』を開催しました。放課後広場でいつも通り遊び、途中約50食のカレーも作って食べました。7月と9月の2回でしたが、日も長く14時～18時まで遊んで帰る頃でもまだ明るく、そしてみんなで賑やかにいたいたいた食事も喜んでくれたようです。新たな試みに、初めて来てくれる子ども達もいました。中には予定があったのにキャンセルしてこちらに来てくれた子もいましたよ!また開催出来るといいです、お楽しみに!

子ども広場では、スタッフを募集しています。お気軽に公民館まで、お問い合わせください。



子どもキッチンでカレー作り

## 内フェス～子どもたちの創造

内中原小学校PTA 会長 原 完次

松江市立内中原小学校PTAでは、県教育庁の「親子と地域をつなぐ PTCA 活動活性化事業」助成金を活用し「内フェス」を企画しました。

内小を卒業した現役の高校生から「数年前まであった内小まつりがなくなった、同じような事を内小の子どもたちに体験させてあげたい」という発案から企画が始まりました。高校生(地域)と、PTA、学校の3者が、それぞれの想いや実際の運営方法などを討議し、学校内で子どもが中心になって行うことで考えられる問題や、どうやったらうまくできるのかなど意見をぶつけ合いました。

まず、全校へ出店公募をした、結果5店で30名程度の応募がありました。

開催は8月11日とし準備期間は夏休み最初に行い、お店の内容から看板など全ての準備作業を子ども達の力と二人の高校生の協力で行いました。内フェス当日、本当にお客様が来てくれるのかという不安の中スタートしましたが、地域の方や野球、バスケ、バレーの子ども達も参加してくれました。

今回は地域の高校生が主導してくれましたが、これからは「内フェス」を経験してくれた中学生が中心になり、多くの子どもたちが参加し主体的に取り組む事のできる事業として続けて行きたいと思います。

※PTCAとは親(Parents)、教師(Teachers)に、地域(Community)を加えたものです。



## 救急救命講習



もしもの時のために…心臓マッサージやAEDの使い方などを学びました

## サマーキャンプ



地域資源の活用で、  
城西ニコニコ交流館園庭でおこないました。

子ども会育成協議会

## 湖岸清掃



今年も小中学生で湖岸を  
きれいにしました。

## 活動あれこれ

### 城西まつり



夏に作成した「水灯路」も  
展示しました。

あつたか広場



今年初めて生徒だけの店舗  
(輪投げゲーム)を企画・運営しました。沢山の子どもたち  
が遊びにきてくれました。

中学生ボランティア

### 冬フェスタ



雪遊び  
琴引フォレストパークで  
スキーやスノーボードで遊びました。  
ソリのタイムトライアルも  
盛り上りました。

さやの会



扇作り  
ビニール袋・ハガキで  
扇を作りました。

出来上がった扇を外の広場で  
一生懸命走りながら上げました。

さやの会

けん玉  
松江のけん玉チーム「スイケン」が  
やってきました。難しい技などのデ  
モンストレーションがあり、その  
後色々な技を教えてくれました。